

ポロシェンコが外国人閣僚を作るための法改正を狙う

RT

November 28, 2014



キエフ議会で演説するポロシェンコ・ウクライナ大統領、2014年11月27日

ウクライナの大統領は、国法を改正して、外国人を政府の重要ポストにつけることを可能にする計画を発表した。これは“前代未聞”と言われ、この国が“外から”支配されることを予想させる。

参考記事：<http://rt.com/news/209539-rompuy-eu-federalization-ukraine/>

「私の提案は、政府を含む国家的ポストに就く権利を外国人に与えるために、法を改正することです」と、ペトロ・ポロシェンコ大統領は、木曜日、国会演説で述べた。「あるいは、ウクライナ大統領が、ウクライナ市民権を与えることのできる人々のリストを、速やかな手続きで拡大することです」と彼は付け加えた。

彼は、そういうポストを得るために、ウクライナ市民権を取得しようとする外国人の意欲は、「我々の潜在的なパートナーや候補者の強い参加の意欲を確認するもの」と強調した。

ポロシェンコはまた、ある外国人を、新しく設けられた「国家の反腐敗部局」の局長に任命する考えを示唆した。彼は、外国人は、「ウクライナの政治的エリートとの関係をもたないこと」によって、特別の強力な「利点」をもつであろうと説明した。

「誰も、誰かの名付け親だとか媒酌人だといったことはなくなるでしょう」と彼は、政治的縁故主義をさして言った。

それより前に、アルセニー・ヤツェニユク首相は、新しい地位——ヨーロッパ統合問題担当副首相——の新設を提案した。彼は、あるヨーロッパのリーダーがこのポストに就くという考えを述べた。



セッション中、会議場を歩く Arseniy Yatsenyuk 首相

木曜日、ヤツェニユクは、ウクライナ首相に留まってよいという議会の承認を得た。一方、ウクライナの 5 つの政党は、新議会の最初のセッションで、新しいヨーロッパ-ウクライナ連盟を結成した。

ポロシェンコは、すべてのウクライナ人が腐敗していると思っているのか？

もしキエフが、トップの政府ポストが外国の市民によって占められることを、本当に検討しているのなら、これは前代未聞の話だと、ウクライナのある政治専門家は RIA Novosti に語り、このような動きの合法性を問題にした。

「このような例は現代の政治的習慣にないもので、これだと、外国市民であるために、国家機密には仮にでも近づけないようなある人物が、主権国家の大臣のポストに就くことになる。私はこれは、品格の降下と、いわゆるヨーロッパ選択への忠誠を見せつけるもう一つの例だと思う」と、キエフの「政治研究・紛争管理センター」長の Mikhail Pogrebiskiy は語った。

彼は、ポロシェンコの、外国人を政府の反腐敗部局の長にすえるという計画は、彼が自国民への信頼を全くもたないことを表すものだろうかと首を傾げた。

「彼の考え方は驚くべきものだ——ポロシェンコは、自分がこの地位にある間は、あらゆるウクライナ市民が確実に腐敗すると考えているのだろうか？」

RIA ノボスチの引用する噂では、外国人たちに提供されるトップの重職は、財政、エネルギー、石油生産、インフラストラクチャー、それに副首相だと言われている。



EU 大使、前ポーランド首相アレクサンデル・ワシニエフスキー

ポロシェンコの親友で 1995 から 2005 年までポーランド首相を勤めた Aleksander Kwasniewski は、ある未知のポストを提供されていると言われている、と CIS（独立国家共同体）のウクライナ部門のヘッド Denis Denisov は、RIA ノボスチに語った。

“ウクライナは EU、NATO メンバーとしては歓迎されていない”

多くの外国人の——ほとんどアメリカとヨーロッパの——専門家が、すでに、さまざまな部局や省庁で働きながら、ウクライナにアドバイスを与えている。このような外国人政府の習慣はウクライナを外部のコントロール下に置くものだ、とデニソフは言った。

木曜日の議会演説でポロシェンコは、ウクライナの、中立でブロック外的な地位は不当なことが判明したので、これは破棄されねばならないと言った。

「この理由で、我々は NATO への統合という考えに戻りました。我々是我々の軍隊の、NATO 軍との協力と調和を深め、NATO の標準に回帰しつつあります。」

彼は、ウクライナがこの改革を実行すれば、5 年後には、EU メンバーとしての資格が得ら

れるだろうと述べた。EUの一員になることは、今年初めの武装クーデタにつながった、マイダンの抗議集会に参加した人々の、中心的な要求だった。

ポロシェンコの野望にもかかわらず、EUの高官たちは、繰り返し、ウクライナをそのメンバーとして迎える準備はできていないと言っている。

月曜日、ドイツの外相 Frank-Walter Steinmeier は、デア・シュピーゲル紙とのインタビューで、ウクライナが予測できる未来に EU に参加することは現実的だとは思わない、ウクライナの経済的・政治的現代化は「数世代のプロジェクト」だからだ、と語った。



ドイツ外相フランク - ヴァルター・シュタインマイアー

フランス外相の Laurent Fabius も、ポロシェンコの EU 支持就任演説のすぐ後で、i-Tele とのインタビューで、ウクライナが EU に参加するという考えは、「私の西側同僚」の間では支持を受けていないと話した。

また NATO メンバーたちも、ウクライナのこの同盟への加入希望は支持しないとやっている。

月曜日には、シュタインマイアーはウクライナの NATO 加入には反対だと言い、ただその可能性を支持することは考慮すると言った。

木曜日には、ポロシェンコはまた、ウクライナの連邦化の考えを問題外とし、「ウクライナ人民の 100%が統一国家を支持している」と言った。

しかし、ウクライナの連邦化は、ドネツクやルガンスクという東部地区の居住者たちの中心

的要求であり、9月の、キエフと東部政権との間のミンスク合意の中心点であった。

キエフ政府がどこまでも連邦化の考えを拒否し続けるので、ヨーロッパ評議会議長の Herman Van Rompuy は、水曜日、ウクライナは連邦制度化を行うべきで、これこそ現在の危機の包括的な解決案になるだろうと強調した。

<http://rt.com/news/209539-rompuy-eu-federalization-ukraine/>

参考記事：<http://rt.com/op-edge/209531-ukraine-maidan-beckett-protest/>